

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-252799(P2002-252799A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-49023(P2001-49023)

【国際特許分類】

H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/78	(2006.01)
H 04 N	5/765	(2006.01)
H 04 N	5/781	(2006.01)
H 04 N	17/06	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/225	F
H 04 N	5/225	A
H 04 N	5/78	B
H 04 N	5/781	5 1 0 L
H 04 N	5/782	K
H 04 N	17/06	

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月22日(2008.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ビデオ撮像装置及びその制御方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 揺れ検出センサの出力に基づいて揺れ補正レンズを駆動して揺れを補正する揺れ補正装置を有するビデオ撮像装置であって、

撮影時に前記揺れ補正装置の所定時間当たりの揺れ補正駆動変化量を検出する変化量検出回路と、

前記揺れ補正駆動変化量を比較基準値と比較することによってそのときの画質を判定する画質判定手段と、

再生時に前記画質判定手段によって判定された画質の評価値を撮影画像とともに表示する表示手段とを有することを特徴とするビデオ撮像装置。

【請求項2】 前記変化量検出回路は、前記揺れ補正駆動変化量を検出する他に、少なくとも絞り、シャッタ速度、ホワイトバランス、フォーカスレンズ動作、ズームレンズ動作のいずれか1つ以上の所定時間当たりの他の変化量を検出し、

前記画質判定手段は、前記揺れ補正駆動変化量に前記他の変化量を加味してそのときの画質を判定することを特徴とする請求項1に記載のビデオ撮像装置。

【請求項3】 揺れ検出センサの出力に基づいて揺れ補正レンズを駆動して揺れを補正する揺れ補正装置を有するビデオ撮像装置の制御方法であって、

撮影時に前記揺れ補正装置の所定時間当たりの揺れ補正駆動変化量を検出する変化量検出ステップと、

前記揺れ補正駆動変化量を比較基準値と比較することによってそのときの画質を判定する画質判定ステップと、

再生時に前記画質判定ステップによって判定された画質の評価値を撮影画像とともに表示する表示ステップとを有することを特徴とするビデオ撮像装置の制御方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はビデオ撮像装置に関し、特に揺れ補正装置を有するビデオ撮像装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【課題を解決するための手段】

本発明の一観点によれば、揺れ検出センサの出力に基づいて揺れ補正レンズを駆動して揺れを補正する揺れ補正装置を有するビデオ撮像装置であって、撮影時に前記揺れ補正装置の所定時間当たりの揺れ補正駆動変化量を検出する変化量検出回路と、前記揺れ補正駆動変化量を比較基準値と比較することによってそのときの画質を判定する画質判定手段と、再生時に前記画質判定手段によって判定された画質の評価値を撮影画像とともに表示する表示手段とを有することを特徴とするビデオ撮像装置が提供される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の他の観点によれば、揺れ検出センサの出力に基づいて揺れ補正レンズを駆動して揺れを補正する揺れ補正装置を有するビデオ撮像装置の制御方法であって、撮影時に前記揺れ補正装置の所定時間当たりの揺れ補正駆動変化量を検出する変化量検出ステップと、前記揺れ補正駆動変化量を比較基準値と比較することによってそのときの画質を判定する画質判定ステップと、再生時に前記画質判定ステップによって判定された画質の評価値を撮影画像とともに表示する表示ステップとを有することを特徴とするビデオ撮像装置の制御方法が提供される。